

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	徳島大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トクシマダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中国・四国地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	実践力養成型インターンシップ1, 2
	学部・研究科等名	教養教育院
	担当教職員名・役職	川崎克寛 COCプラス推進コーディネーター(特別准教授)
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	54
	受入企業等数	15
	受入企業等名	<a href="https://www.tokushima-u.ac.jp/coc-plus/internship/2017_fair.html">https://www.tokushima-u.ac.jp/coc-plus/internship/2017_fair.html</a>
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	徳島県内の企業・団体が抱える課題に対して、受入先、学生、学内メンター(ドン)が中・長期にわたり協働してミッションの達成を目指す実践型のインターンシップである。インターンシップ先ごとに学生がチームを組んで取り組み、インターンシップ先での活動と大学内での活動(グループワークなど)を繰り返し行いながら進める。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		1年次~4年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		教養教育科目(地域科学教育科目群)に属する選択科目として、前期に「実践力養成型インターンシップⅠ」(演習/1単位)、後期に「実践力養成型インターンシップⅡ」(演習/1単位)を開講しており、通年(前期・後期)の履修を推奨している。新たに開発したインターンシッププログラム(寺子屋式インターンシップ)により、社会人としての素養やコミュニケーション力を磨くことを目的としている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ生を対象に、社会人基礎力をはかる効果測定PROGを実施し、インターンシップに臨む上でのマインドセット及びインターンシップ開始後の活動を円滑に進めるための社会人基本動作などを身に付けるための研修を計3回実施した。また、受入先対象の事前講習ではインターンシップ受入に関する留意点の伝達その他、学生向けのプロジェクトガイダンスの内容及びチームビルディングに関する伝達を行った。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学習(振り返り会)については、履修学生と受入企業を分けて実施している。学生振り返り会は、主に本インターンシップを通じて経験したことを職業観や今後の学生生活を送る上での課題として設定する機会としている。企業振り返り会では、当初設定されたプロジェクトの成果について吟味し、今後の展開につなげていくための施策を考察する。また本インターン期間中に得られた副次的効果についての検証も行う。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターン生からドン(学内メンター)へ定期的な報告が行われる。また、報告を受けたドンからは、適宜インターン生へのプロジェクトマネジメントに関するアドバイスや職業観についてのレクチャーが行われる。さらに、随時コーディネーターが受入先との打合せを兼ねて現場に赴き、プロジェクトの進捗や学生の取組み姿勢の確認を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ活動の際にレポートの提出及び議事録の提出を義務づけている。インターンシップ前後で、社会人基礎力(リテラシー・コンピテンシー領域におけるジェネリックスキル)をはかることのできる効果測定PROGを実施している。インターンシップ終了後に実施する学生向け振り返り会ではチームメンバーを総合に評価しあう「チームメンバー評価」を行っている。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	通算30日程度
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	プロジェクト(受入先)により週1～2日の活動を数ヶ月にわたり行うものもある。
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	通算30日程度のインターンシップであり、受入先での活動スケジュールは、プロジェクト(受入先)により変動がある。夏休み集中型のものもあれば、週1～2日の活動を数ヶ月にわたり行うものもある。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	

	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの開始時、中間時、終了時に合同会議の場を設けるとともに、常に企業担当者と当該コーディネーターが密接に情報交換を行いながら進捗を図るスタイルをとっている。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://eweb91.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2017&amp;lct_cd=0092202&amp;je_cd=1">https://eweb91.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2017&amp;lct_cd=0092202&amp;je_cd=1</a> <a href="https://eweb91.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2017&amp;lct_cd=0092203&amp;je_cd=1">https://eweb91.stud.tokushima-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2017&amp;lct_cd=0092203&amp;je_cd=1</a>
問い合わせ先	大学等名	徳島大学
	担当部署名	学務部学生支援課キャリア支援係
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	川上ちぐさ
	電話番号	088-656-7089
	メールアドレス	careerc@tokushima-u.ac.jp